

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和5年(2023年)3月1日

事業所名 柏崎市早期療育事業元気館

国から示された「児童発達支援ガイドライン」に基づき、事業所職員が自己評価を実施しました。  
事業所における課題点及び改善すべき点を今一度確認し、今後の事業所運営に活かしていきます。  
今後ともより良い事業所運営を目指していきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	14	0	・より丁寧な支援ができるよう、人員基準以上の職員体制や専門職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	0	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	・安全に活動できるよう安全対策をおこなっている。 ・個別指導室に空気清浄機とサーキュレーターを設置している。 ・活動後は使用した道具の消毒をおこなっている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	14	0	・柏崎市人事課が統括する人事評価制度マニュアルの「職務目標管理シート」に基づき取り組んでいる。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	0	・保護者向け評価表や、講座のアンケート、半年毎のモニタリング時に要望を把握し、改善に繋げている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	0	・事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を柏崎市子育て応援サイト「すくすくネット」で公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	14	・第三者による外部評価についてはおこなっていない。今後検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	・事業所主催の「療育支援者研修会」の実施、上越教育大学教授からアドバイザーとして定期的に研修を受けている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14	0	・子どもの状態を観察及び保護者からの聞き取りにより、実態把握に努め支援計画に取り入れて作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	0	・年中児、年長児については「S-M社会生活能力検査を保護者から記入していただき発達状況を確認している。また、今後の支援に必要と思われる場合は新版K式発達検査やWISC-IV知能検査を実施している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	2	・「地域支援」方策への踏み込みはやや弱い。 ・本人支援以外の、家族支援や就園先との連携については記載が少ない。 ・在籍園や就園、就学先の職員から教室を見学していただき、支援内容の共有や支援経過を引き継いでいる。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0	・親子教室や小集団の教室は各担当職員(3~4名)で事前に活動内容の検討や打ち合わせを行っている。また、終了後のカンファレンスで児童の様子を共有し、次回の活動プログラムに活かしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14	0	
適切な支援の提供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	14	0	・個別指導の教室は子どもの状況に合わせて、グループ活動を実施している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	0	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14	0	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	0	
関係機関や保護者との連携	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	14	0	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	0	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	14	0	・地区担当保健師や園担当保健師が同じ建物内で勤務していることから、必要に応じて連携をとっている。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	13	0	・該当児童なし
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	13	0	・該当児童なし	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	0	・保護者同意を得たうえで就園先、就学先、通級担当職員への引継ぎを実施している。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	0	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13	1	・コロナ禍により視察機会が減少している。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	10	・コロナ禍により交流機会は減少している。 ・事業所と園との連携は見及び研修会を通じてある。健常児との活動は事業所外(子育て支援施設や通園先)ではあるが事業内では企画していない。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	8	・柏崎刈羽地域自立支援協議会の子ども部会に参加している。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	・教室終了時に子どもの様子を保護者へ報告し共有を図っている。また、担当職員と定期的に相談時間を設けている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	14	0	・主に年長児、年中児の保護者にペアレント・トレーニングの募集案内を配布し希望者に実施している。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	0	・契約時に事業所重要事項説明書の書類を提示しながら説明をおこなっている。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14	0	・子どもの状況や保護者の要望を確認し支援計画を作成し、支援内容について説明をおこなっている。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	0	・定期的に保護者との相談時間を設けている。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	0	・各教室で座談会、OB座談会、退室児座談会等の開催により保護者同士が話せる場や情報共有できる機会を設けている。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	・必要に応じ、保健師や臨床心理士、理学療法士からの専門的助言を得ながら対応している。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	・プレー教室、たんぼ教室を利用する保護者向けに「プレー・たんぼだより」を月1回発行している。 ・さくらんぼ教室を利用する保護者には年間日程表を配布し、活動見学日、相談日、座談会の内容等を事前にお伝えしている。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	14	0	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	11	・地域開放は困難だが保育園等関係機関の事業見学及び行事参加等を実施している。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	4
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	3	・事業所が入っている建物全体で避難訓練を実施している。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	0	
④4		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	2	・全対象児のアレルギーの有無を保護者に確認している。
④5		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	0	・ファイルに綴り、状況や経過、対応について共有している。
④6		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	9	・子どもの様子や状況確認を担当保健師等と情報共有をおこなうよう心がけている。
④7		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	12	・身体拘束の機会が殆ど無い。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。